

第 7 6 回北摂小児科医会プログラム

日時：平成 26 年 8 月 2 日（土）午後 3 時

場所：市立芦屋病院 講堂

〒659-8502 兵庫県芦屋市朝日ヶ丘 39-1

TEL：0797-31-2156（代表）

第 76 回北摂小児科医会 プログラム

日時：平成 26 年 8 月 2 日（土）午後 3 時

場所：市立芦屋病院 講堂

〒659-8502 兵庫県芦屋市朝日ヶ丘 39-1 TEL：0797-31-2156

◇話題提供(15:00～15:15)

「経口用カルバペネム系抗生物質製剤(オラペネム®) 関連情報」

Meiji Seika ファルマ株式会社

◇一般演題(15:15～16:15)

前半の部 座長 森田 拓 先生（市立芦屋病院 小児科）

1) 『Posterior reversible encephalopathy syndrome (PRES) を発症した Henoch-Schonlein purpura (HSP) の一例』

箕面市立病院 小児科

○東純史、桂聡哉、奥山直美、梶田聡美、山本恭子、金野浩、溝口好美、下辻常介、山本威久

【はじめに】PRES は 1996 年に Hinchey らにより提唱された血管原性浮腫に起因する可逆性脳症である【症例】7 歳男児。紫斑、腹痛、足関節痛を認め、発症 4 日目に HSP の診断で入院。安静にて経過観察したが、発症 7 日目にけいれん発作を認め、頭部 MRI で後頭葉中心に血管原性浮腫を示す病変が散在し PRES と診断。HSP に対し mPSL（最大 2.5mg/kg）開始後、けいれんの再発なく、MRI 病変も消失した。

2) 『アレルギー性紫斑病に伴うタンパク漏出性胃腸症により低蛋白血症を呈した一例』

県立塚口病院 小児科

○吉田淳史

腹痛・血便が主訴の 1 才女児。細菌性腸炎として抗生剤加療を開始したが改善乏しく、さらに著明な低蛋白血症を認めた。炎症性腸疾患等の鑑別のため精査を行い、明らかな器質的異常所見を認めなかった。経過中に両足底に紫斑を認め、アレルギー性紫斑病による消化器症状と蛋白漏出性胃腸症の診断を得た。ステロイド投与が奏功し症状は速やかに軽快した。

3) 『胃腸炎を契機に発症した環軸椎回旋位固定の一例』

市立芦屋病院 小児科

○森田拓、磯野員倫

症例は 8 歳女児。嘔吐頻回のため応急診療所から当院に紹介され胃腸炎の診断で入院した。入院 2 日目から突然左頸部痛を訴え、痛みのため動けなくなった。鎮痛剤にも反応無く頸部 CT では骨折等は認められなかった。環軸椎回旋位固定を疑い、国立神戸医療センターに転院。上記診断でグリソン固定施行し治癒した。環軸椎回旋位固定は一般に頸部リンパ節炎を契機に発症する。経過時間が長いと治癒困難となるため持続する頸部痛には鑑別診断として考慮が必要である。



----- コーヒータイム -----
(16:15～16:30)



◇総会 (16:30～16:40)

◇一般演題(16:40～17:30)

後半の部 座長 磯野 員倫 先生 (市立芦屋病院 小児科)

4) 『下肢痛を主訴とした動静脈奇形の一男児例』

大阪府済生会千里病院 小児科¹⁾、

大阪大学大学院医学系研究科放射線総合医学講座放射線医学教室²⁾

○新井美香¹⁾、黒田一也¹⁾、西田将成¹⁾、吉田敏子¹⁾、森本恭子¹⁾、瀬戸真澄¹⁾、大須賀慶吾²⁾

動静脈奇形 (AVM) は動静脈シャントを有した異常血管奇形で、多くは単発である。我々は2か所の離れた部位に発生した比較的稀な AVM を経験した。症例は 11 歳男児。主訴は左下腿の疼痛。診察時に左下腿及び左前腕の腫脹、血管の蛇行を認めた。血管エコー、造影 CT にて左上下肢に AVM を認めた。治療は Interventional Radiology (IVR) が第一選択となった。本症例に若干の知見を加え報告する。

5) 『当院に入院した hMPV 感染症に関する臨床的検討 - RS ウイルスとの比較 - 』

市立伊丹病院 小児科

○川村 孝治、山口 智裕、神尾 範子、中里 寿美子、薮田 玲子、有田 耕司、三木 和典

当院では本年4月からイムノクロマト法を用いたヒトメタニューモウイルス (hMPV) 感染症の迅速検査が行えるようになった。発熱・咳嗽・鼻汁を主訴とする 91 名に検査を施行し、20 名が陽性・16 名が入院となった。hMPV と RSV は感染時の臨床症状に似通った点がある。今回、当科に入院した hMPV 患者の臨床症状を RSV 患者と比較し、両者の共通点・相違点について文献的考察を加え検討したので報告する。

会場までの案内地図



公共交通機関をご利用の方

- ◆JR をご利用の方：JR 芦屋駅からバス2番のりば（所要時間 約20分）
 - ◆阪急電車をご利用の方：阪急芦屋川駅からバス2番のりば（所要時間 約25分）
- 芦屋病院へは、講堂がある病棟は「芦屋病院東口」での下車が便利です。

お車をご利用の方

- ◆国道43号線または国道2号線から芦屋川沿いを北に上がり、芦屋浄水場前を右にまがると、市立芦屋病院の看板が見えます。看板を越えて直進し芦屋霊園前を通過すると、芦屋病院北側出入口前に到着します。外来駐車場は玄関の東側にあります。さらに進むと右手に南駐車場があります。講堂がある病棟は南駐車場が便利です。